

(1) 計画の目的

- 道央都市圏7市3町では、2006(H18)年度に第4回パーソントリップ調査を実施し、この結果をもとに2010(H22)年3月に道央都市圏のあるべき将来都市像と交通に関する基本方針を定めた「都市交通マスタープラン」を策定
- 上記マスタープランを踏まえ、2012(H24)年1月に札幌市独自の20年後を想定した将来交通に対する基本的考え方及び10年間の短・中期における交通戦略を示す「札幌市総合交通計画」を策定

第1編 基本的な考え方(20年後を想定した将来交通に対する基本的な考え方)【2011(H23)年度～2030年度】

■札幌市の現状と交通課題

■計画理念 「暮らし」・「活力」・「環境」を重視する公共交通を軸とした交通体系の実現

■基本方針

- ・ 地域特性に応じた拠点のまちづくりを支える
- ・ 道都さっぽろの顔となる都心まちづくりを支える
- ・ さっぽろの都市観光を支える
- ・ 圏域連携のための広域交通を強化する
- ・ 交通システムの充実により環境首都・札幌の実現を支える



■各交通モード

- ・ 札幌市の交通体系 : 公共交通ネットワーク、道路ネットワーク、広域的ネットワーク
- ・ 各交通モードの基本的な考え方 : 鉄軌道(地下鉄・鉄道)、バス、路面電車、タクシー、交通結節点、自動車(道路)、駐車場、徒歩、自転車、北海道新幹線、航空(丘珠空港)

第2編 交通戦略(10年間の短・中期における交通施策等を体系化)【2011(H23)年度～2020年度】

■交通施策の体系化

■評価指標

■進行管理

(2) 計画見直しの背景

① 現計画の効果検証を行い、10年間の交通戦略を更新

- 現計画の効果検証を行い、交通戦略を評価
- 交通戦略は2011年度からの10年間を対象としており、2020年度までに更新が必要

② 戦略ビジョンや都市計画マスタープランなどの上位計画が策定(改定)

- 上位計画が改定され、それらを踏まえた見直しが必要
第4次札幌市長期総合計画(H12) ⇒ 札幌市まちづくり戦略ビジョン(H25)
札幌市都市計画マスタープラン(H16) ⇒ 第2次札幌市都市計画マスタープラン(H28)

③ 新幹線の札幌延伸など、今後の社会経済情勢の変化を見据え検討

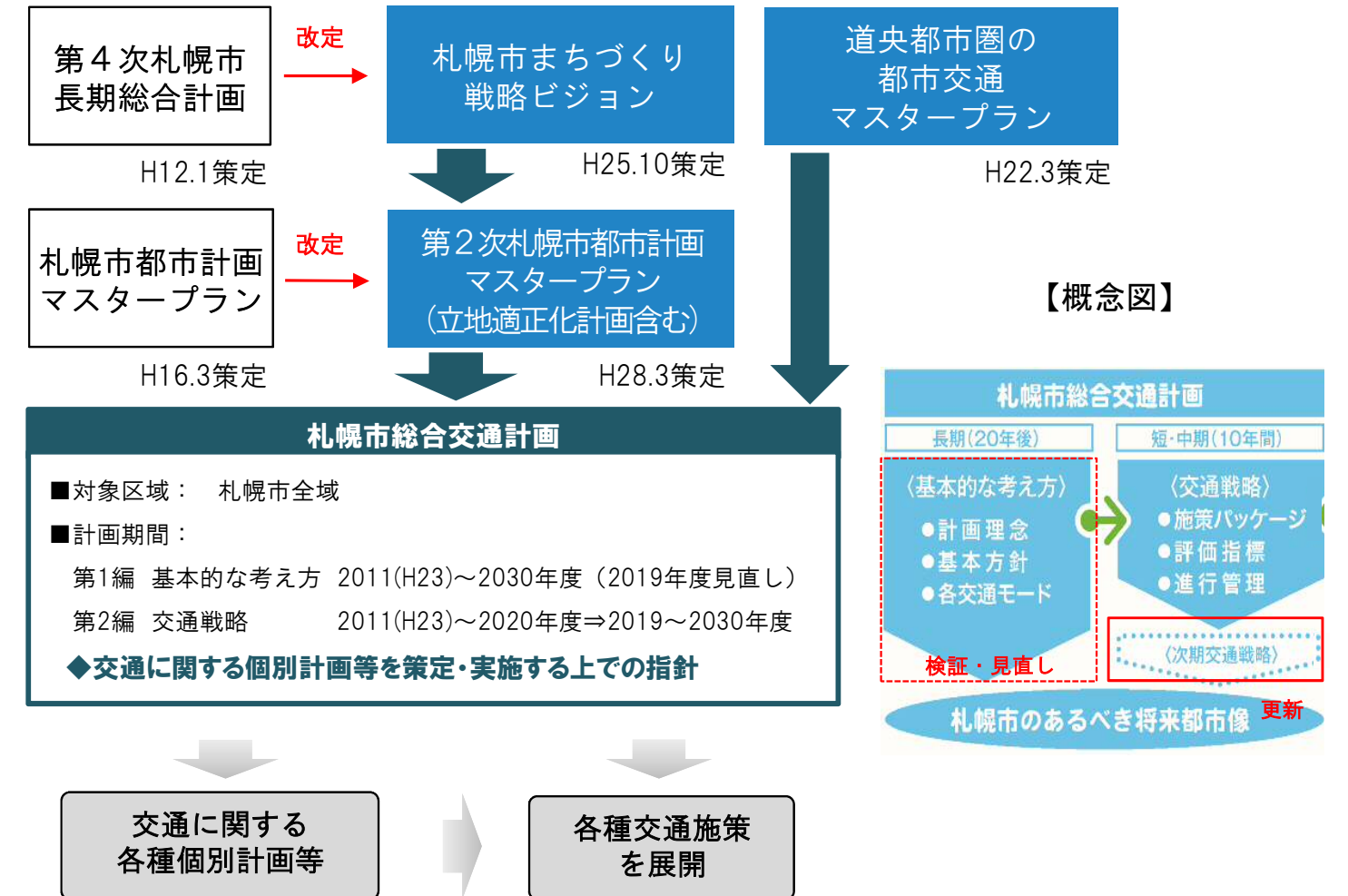
- 2030年度末の北海道新幹線札幌延伸を見据え、札幌市の交通体系を検討
- 上記のほか、冬季オリンピック招致の動向など、今後の社会経済情勢の変化等も踏まえ検討

④ 持続可能な公共交通体系の形成

- 今後想定される人口減少・少子高齢化の進展等の影響により、公共交通ネットワークの縮小、サービス水準の低下が懸念される中、持続可能な公共交通体系の形成に向けた検討が必要

(3) 計画の位置付け

- 札幌市の上位計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」及び「第2次札幌市都市計画マスタープラン(立地適正化計画含む)」や、道央都市圏の「都市交通マスタープラン」を踏まえ、札幌市を取り巻く様々な課題に対応した将来交通計画となるものであり、交通に関する個別計画等を策定・実施する上での指針



(4) 見直しスケジュール

